

追悼法要

2025. 9. 21(日)



大阪は勿論兵庫県、奈良県からも、遠近各地より皆さんお参り下さいました。皆さんとともに「仏説阿弥陀経」のおつとめです。本日都合悪い方は事前にお参り下さった、お供えをお送り下さった方もありました。皆様、ご丁寧に有り難うございました。



おつとめの後は院主の法話。「亡き方の贈り物」と題して森田素子さんや榎本栄一さんの詩を味わいながら、亡き方からいただいたご縁に、阿弥陀さまに照らされ生かされて、私たちはどう生きるか自身を見つめるご縁となりました。一生懸命お聴聞ください後で質問される方も。ようこそ御参詣でした。

拙寺では、毎年9月23日頃に追悼法要を厳修しております(今年は21日でした)。1周忌3回忌を迎えられるご家庭にご案内をしている法要です。

さて、追悼法要は先人(亡き方)が身をもって示して下さった人生から、「わたし」が自分のいのちについて考えを深め、生死しやうじを超えるという仏教の根本課題を学ぶ大切なご縁です。



一人ひとりの人生の長さは違いますが、一日、または、ひとときの大切さは同じです。このひとときを自分を大切にするのと同じく、感謝の日暮らしさせていただくことが出来れば、ともにいのち輝く世界へとなっていくのではないのでしょうか。

本日は亡き方をとおして手を合わせるご縁をいただきました。「南無阿弥陀仏」とお念仏申し、亡き方を偲び、我が身を振り返らせていただきましょう。

